

JAIA F☆☆☆☆

環境対応接着剤

ダイアボンド DH611

ダイアボンドDH611は、耐候性、耐寒性に優れた、ホットメルト形不定形シーリング材です。

§ 特長

1. ノンホルムアルデヒド仕様です。
2. 耐候性、耐水性に優れ、体積収縮がなく、気密、水密性が良好です。
3. 鉄板、塗装鋼板への密着性が良好です。
4. 不揮発分 100 %にて、専用アプリケーションナー使用により、連続塗布が可能です。
5. 皮膜が柔軟にて、応力に対し追従し長期にわたって防水効果を発揮します。

§ 用途

屋根ハゼ部のシール

☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主 成 分	変性ブチルゴム
外 観	白色
不 揮 発 分 (%)	100
溶 融 粘 度 (mPa・s) at20℃	170 万 ～ 330 万
最適使用温度 (℃)	140 ～ 160
保 証 期 間 (月) at25℃	12
荷 姿	18 kg ペール缶 (ダンボール梱包)

§ 使用方法

- | | | |
|------------|--------------------------------------|-------------------|
| 1. 前 処 理 | 被着材表面の水分，油，ゴミなどを除去し、汚れのないよう清浄にします。 | |
| 2. 塗 布 方 法 | アプリケーション：バルクメルター（DM5，ITW ダイナテック（株）製） | |
| | ヒートプレート温度 | 150 °C |
| | ホース温度 | 150 °C |
| | ガンヘッド | 150 °C |
| | ノズル形 | 0.7 ø（ミニ A ヘットガン） |
| | エア圧 | 0.45 MPa |

§ 接着性能

試 験 項 目	試 験 方 法	結 果
耐 温 水 * ¹	40 ℃の水道水中に 500 時間投入後の状態	異常なし
耐 水 * ¹	20 ℃の水道水中に 500 時間投入後の状態	異常なし
耐 熱 * ¹	80 ℃の恒温槽に 500 時間投入後の状態	異常なし
ス ラ ンプ * ²	80 ℃の恒温槽に 500 時間投入後の状態	異常なし
マンドレル * ³	-20 ℃下における柔軟性	良好
低温柔軟性	-40 ℃下における柔軟性	良好

*1：試験片は、カラー鉄板でハゼ折りシールを行い、シール材の状態を観察する。

*2: 試験片は、カラー鉄板に 5 g (約 25 g/M) 塗布し垂直に立てシール材の状態を観察する。

*3: 試験片は、100 μ アルミ箔へ5 ϕ に塗布し、各温度に3時間放置後、その温度下にてマンドレルに180度巻き付け状態を観察する。(マンドレル: 10 ϕ 鋼管)

§ 環境試験 ^{*4}

試験項目	試験方法	結果	
		タテ	ヨコ
ウエザオメーター *5	500 時間投入後の状態	雨跡あり ダレ 3mm	雨跡あり 異状なし
屋外暴露 *6	1000 時間投入後の状態	異状なし 砂付着	異状なし 砂付着
	1500 時間投入後の状態	2mm ダレ	1mm ダレ
水中放置	1500 時間投入後の状態	異状なし	異状なし
耐熱 (at95℃)	1000 時間投入後の状態	異状なし	異状なし
	1500 時間投入後の状態	4mm ダレ にじみ出しあり	2mm ダレ にじみ出しあり
耐熱 (at70℃)	1500 時間投入後の状態	異状なし	異状なし

*4：試験片は、カラー鉄板に5 ϕ （約25g/M）に塗布し垂直に立てシール材の状態を観察する。

*5: サンシャインウエザオメーター (スガ試験機(株) 製)

ブラックパネル温度 63℃ 降雨サイクル 18分/120分

降雨量 0.1 MPa で 2100 ± 100 cc 分

*6：場所 ノガワケミカル(株) 川口工場 正南向きで角度 45 度

§ 注意事項

- ・ 高温で使用するので火傷には十分注意して下さい。
- ・ シール材はゴミなどが付着混入しないよう密封して冷暗所に保管して下さい。
- ・ ペール缶はそのまま機械処理するため、外観にへこみ等異常なき様保管取扱いに注意して下さい。
- ・ 泡混入防止のため横倒し厳禁して下さい。

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。